

# 狛犬とは

狛犬とは、獅子に似た日本の獣で、想像上の生物とされ、起源は古代オリエントのライオン(獅子)であると言われており、インド、中国、朝鮮を経由し、日本に入ってきたようです。拝殿の前や参道の要所に左右「一對」となって設置され、拝殿に向かって右側に口を開けている「阿(あ)像」、左側に口を閉じている「吽(うん)像」が並び、邪気を祓い、神前を守護する意味を持っています。

## 県南地区の狛犬

ここ福島県南部には、「福貴作(ふきざく)石」と呼ばれる「きめが細かく細工しやすいと同時に、摩耗しにくい良質な石」が採掘され、この石に惹かれた石工 小松利平(信州 高遠藩)はこの地に住み着き、高度な技術を弟子に伝え有名な石工を輩出しました。

現在も約300対もの特徴ある狛犬が残っており、前足を伸ばし腰を下ろした**蹲踞型(そんぎょがた)**が基本ですが、ここ県南地方には「**飛翔型(ひしょうがた)**」や「**獅子山型(ししやまがた)**」と呼ばれる創意工夫されたものが数多くみられます。

特に、利平の技を受け継いだ「東北のミケランジェロ」と言われる小松寅吉の狛犬は、見るものを惹きつけ、その卓越した技術は他の石工に影響を与え、地域全体に芸術性の高い作品が残ることになりました。

## スタンプラリー参加・応募方法

### 1 登録

狛犬前の看板にある「おしゃべり狛犬スタンプラリーの登録はこちら」のQRコードをスマートフォンで読み取り、メールアドレスを登録します。

### 2 取得

登録後、狛犬前の看板の中央にある「しゃべる狛犬の声はこちら」スタンプ用QRコードを読み込んでスタンプをゲット!7コ集めましょう。※カメラの利用を許可してください。

### 3 応募

住所・氏名などの必要事項を記入し、応募します。

※スタンプラリーの参加は無料ですが、通信料は参加者の負担となります。  
※電波状況が悪い時などはスタンプを取得できない場合があります。  
※スマートフォン端末に関する不明な点は、ご契約中の通信会社へお問合せください。

詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。



## おしゃべり狛犬とは

狛犬の前のQRコードを読み込むと狛犬の声で説明が聴けます。(音声ガイド)



応募期間 令和6年10月1日(火)~令和7年1月24日(金)

※狛犬スタンプ・音声は、令和7年3月31日までお楽しみいただけます。  
※梶さんの狛犬の声は、令和7年1月31日までになります。令和7年2月1日~3月31日は、別の音声になります。

## 白河方面へお越しの場合

電車	東京駅 東北新幹線 約70分 仙台駅 東北新幹線 約60分	新白河駅	車	浦和IC 仙台宮城IC 東北自動車道 約100分	白河IC・白河中央スマートIC
----	----------------------------------	------	---	--------------------------	-----------------

タクシー	白河市	白河観光交通(株) Tel.0248-27-3300	棚倉町	(有)ときわタクシー Tel.0247-33-2176
	白河市	(有)東タクシー Tel.0248-34-2360	棚倉町	(有)ちかつタクシー Tel.0247-33-2722
	西郷村	光タクシー(株) Tel.0248-22-0111	塙町	(有)塙タクシー Tel.0247-43-1165
	矢吹町	(有)矢吹タクシー Tel.0248-42-4133	塙町	(有)ファミリータクシー Tel.0247-43-2158
	棚倉町	あいタクシー(株) Tel.0247-33-8800	矢祭町	(有)矢祭観光タクシー Tel.0247-46-3105

バス	ジェイアールバス関東(株) 白河支店 Tel.0248-24-0489	レンタカー	JR駅レンタカー 新白河営業所 Tel.0248-27-1842
	福島交通(株) 白河営業所 Tel.0248-23-3151	レンタカー	(株)トヨタレンタリース新福島 新白河駅新幹線口店 Tel.0248-21-0100
	福島交通(株) 棚倉出張所 Tel.0247-33-2151	レンタカー	ニッポンレンタカー 新白河駅東口営業所 Tel.050-1712-2918
		レンタカー	オリックスレンタカー 新白河駅前店 Tel.0248-21-9743
		レンタカー	日産レンタカー 新白河駅前店 Tel.0248-27-5523
		電気自動車カーシェアリング	タイムズカー 新白河駅西口店 Tel.0248-22-6060
			しらかわ観光ステーション Tel.0248-21-6347

ふくしま県南観光推進協議会 (事務局：白河市産業部観光課)

TEL 0248-22-1111

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7-1



しらかわエリアナビ・HP

令和6年度 福島特定原子力施設地域振興交付金事業

県南9市町村を代表する20対のしゃべる狛犬を探訪しスタンプを7コ集めて応募してオリジナルグッズを当てよう!!

白河焼の狛犬 (大塚相馬焼いかりや窯作) ..... 20名

お楽しみ

狛犬てぬぐい (北村はるかさん作) ..... 20名

狛犬デジタルデザインカード (北村はるかさん作) ..... 100名

詳しいHPの狛犬のHPを見る!

スタンプラリーに参加する!

スマートフォンでQRコードを読み取る

※おしゃべり狛犬の声やスタンプを集めるには、スマートフォンが必要です。また、端末や機種、ソフトウェアのバージョンにより利用できない場合があります。

期間限定 ぼくが狛犬の声で紹介するよ!

声優 梶 裕貴さん

9月3日生まれ。2004年に声優デビュー。「進撃の巨人」エレン・イェーガー役をはじめ、「僕のヒーローアカデミア」轟焦凍役、「ハイキュー!!」孤爪研磨役、「悪魔くん」悪魔くん/埋れ木一郎役、「七つの大罪」メリオダス役など、数多くのキャラクターを数多く演じる。日本テレビ系列「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」など数多くのナレーションや、みずほ公式キャラクター「あおまる」の声、「アイリスオーヤマ」のサウンドロゴの声なども担当している。2013年度には史上初の2年連続で声優アワード主演男優賞を受賞。2018年に著書「いつかすべてが君の力になる」を出版し、累計7万部のヒットを記録。実写での主演をはじめ、舞台や朗読劇、さまざまなプロデュース業など活躍の場を広げている。その声に、人間の脳と心に癒しの効果を与えるという「1/fゆらぎ」の響きを持つ。声優20周年を記念してAI音声合成プロジェクト【そよぎフラクタル】を発足。梶さんの狛犬の声は、令和7年1月31日までになります。令和7年2月1日~3月31日は、別の音声になります。



うん ぞう 阿像

# ふくしま県南・おしゃべり狛犬探訪の旅マップ



あ ぞう 阿像

しゃべる狛犬を探して、スタンプを集めよう!

一言で狛犬といっても、勇ましい顔、りりしい顔、かわいい顔、怖い顔、怪しい顔など、表情豊かな狛犬がたくさんいます。あなたは、どの狛犬が好きかな?

**1 南湖神社** なんこじんじや

- 住所 白河市菅生館2(南湖公園内)
- 御祭神 松平定信公(まつだいらさだのぶこう)
- 石工 野田平業(のだへいぎょう)
- 建立年 大正11年(1922)

野田平業の24歳の時の作品。これにより近隣に名前が知れ渡り、その後の注文依頼の多さにつながったと考えられる。透かし彫りの玉の美しさ、流れるような尾に技術の高さを感じる。

**2 熊野神社** くまのじんじや (白河市)

- 住所 白河市大信下小屋字宮沢98
- 石工 作者不明
- 建立年 安永4年(1775)

はじめ狛犬ともむかし狛犬とも言われる狛犬。その当時狛犬を見たことが無い石工に限られた情報の中で彫った。阿像の形状と四足であるということだけが反映されている。ネットで日本一足の細い狛犬と言われている。

**3 鹿島神社** かしまじんじや

- 住所 白河市東下野出島字坂口
- 石工 小松寅吉(こまつとらきち)
- 建立年 明治36年(1903)

東北のミケランジェロと言われる小松寅吉の最高傑作。ねぶたを連想させる姿と何よりも細工の見事さ。当時の鑿(のみ)でお腹や尾の中を中空に彫るのは至難の技。流れるような毛の表現。見る角度により変化する表情。上から流れた水が中にたまらないように計算されている。

**4 常宣寺** じょうせんじ

- 住所 白河市向新蔵136
- 石工 三國次郎(みくにじろう)
- 建立年 昭和15年(1940)

お寺の門の中、お堂の前にいる狛犬。口・目の表現が独特。市内の虚空堂(こくうどう)、周辺の稲荷神社もこの人の作品。三国姓では三国岩次郎という石工も市内や西郷村に作品を残している。

**5 小田倉神社** おだくらじんじや

- 住所 西郷村小田倉山下1
- 石工 鈴木定吉(すずきさだきち)
- 建立年 昭和25年(1950)

自然石から掘り出された珍しい狛犬。作者の鈴木定吉は「和光」ともい、白河市北登り町の矢場神社の狛犬や南湖神社の松平定信像などを制作している。社殿裏の岸壁に明治28年(1895)10月14日銘の磨崖碑(まがいは)「天照皇大神宮(てんしょうこうたいじんぐう)」がある。石工尾股喜助によるものだが、その下にも獅子頭のようなものが彫られている。

**6 妙見神社** みょうけんじんじや

- 住所 西郷村熊倉道場久保36
- 石工 三國岩次郎(みくにいわじろう)
- 建立年 昭和9年(1934)

一般的に阿像が玉取り、咩像が子取りだが、この狛犬は咩像足下にみごとな籠彫り(かごぼり)の玉がある。県南地方においても阿咩像の子取り、玉取りの違いや位置の違いや阿像・咩像の位置の違いがたびたび確認される。

**8 熊野神社** くまのじんじや (泉崎村)

- 住所 泉崎村踏瀬熊ノ森13
- 石工 矢吹哲三(やぶきてつぞう)
- 建立年 昭和4年(1929)

台座には小田川石工矢吹哲三の文字が彫られている。作風は野田平業のものと思われるが、阿像の押さえている玉が籠彫りでないで、平業は狛犬だけ請け負って哲三が全体の請け人だったのかもしれない。

**9 川田神社** かわたじんじや

- 住所 中島村川原田字上町31
- 石工 小松寅吉(こまつとらきち)
- 建立年 明治25年(1892)

小松寅吉が自身で奉納したとされている飛翔獅子(ひしょうし)。21歳の時に小松家の養子となりその後、布季を襲名(しゅうめい)したことを世間に知らしめる作品。それまでの踏躰型(そんぎよがた)からまるで空を駆けているような姿。尾も突き刺すように流れているためかみのカールもデフォルメされていて勇ましい。

QRを読み込むと神社の位置をGoogleMAPで確認できます。(スマートフォンアプリ)

**狛犬めぐりの心得**

- 鳥居で一礼
- 手水舎で清める
- 参拝
- 神社や狛犬を見学する

狛犬見学は参拝のマナーを守りましょう。

**7 関和神社** せきわじんじや

- 住所 泉崎村関和久上町96
- 石工 小松寅吉(推定)(こまつとらきち)
- 建立年 明治20年(1887)

右にある阿像には牡丹が彫られている。目や口の表情とこの時代の狛犬としては非常に彫りが精密な事から作者は小松寅吉ではと推測される。参道を5分程歩いた拝殿前(はいでんまえ)には伊右衛門の狛犬もある。

**10 羽黒神社** はぐろじんじや

- 住所 中島村滑津字羽黒前90-92
- 石工 小林和(こばやしわへい)
- 建立年 昭和8年(1933)

県南地方では珍しい獅子山型(ししやまがた)の狛犬。震災で倒壊した狛犬。その前にもダンプにぶついたら破損した事がある。今回修復されたが復元の難しさを感じる。

**15 八幡神社** はちまんじんじや (矢祭町)

- 住所 矢祭町戸塚山崎2
- 石工 蛭田照吉(ひるたしょうきち)
- 建立年 昭和16年(1941)

精緻(せいち)な細工ではないが丁寧に彫られた素朴な味わいのある狛犬。咩像の子獅子をあやす前足に親獅子の優しさが表れている。高めの台石の上の台座も丁寧に彫られている。

**18 熊野神社** くまのじんじや (埴町)

- 住所 埴町東河内五郎内
- 石工 野田平業(のだへいぎょう)
- 建立年 大正15年(1926)

野田平業の28歳の時の作品。右に咩像があり籠彫りの玉、左に阿像で子獅子をあやしている。平業も時々阿咩が逆になる時がある。

**11 日吉神社** ひよしじんじや

- 住所 矢吹町大和内
- 石工 野田平業(のだへいぎょう)
- 建立年 大正15年(1926)

台座に「石工 獅子 野田豊吉 台石 矢吹町 根本末吉」と彫られている。狛犬の場合、仕事を請け負った石屋が細工をやらない場合には狛犬を外注するようだ。

**13 八槻都々古別神社** やつきつこわけじんじや

- 住所 棚倉町八槻大宮224
- 御祭神 日本武尊、味耜高彥根命(やまとたけるのみこと、あじすきたかひこねのみこと)
- 石工 留蔵(とめぞう)、力蔵(りきぞう)
- 建立年 天保11年(1840)

彫りの素晴らしさと独自性。尻尾は一本立ちで、阿像の耳はたっているが咩像ははねている。歯も阿咩で違い、阿像は口の中まで丁寧に彫られている。均し(ならし)で水平に保たれた石垣の上に台石が二段、更にその上に趣向を凝らした猫足に支えられた台座と狛犬がのっている。

**16 石井神社** いしいじんじや

- 住所 矢祭町中石井館谷
- 石工 後藤豊春(推定)(ごとうほうしゅん)
- 建立年 昭和15年(1940)

台座に彫られている名前が読めないがこの地方の後藤豊春ではないかと思われる。身体に彫られた毛記文(巻き毛)のデザインが変わっている。

**19 熊野神社** くまのじんじや (鮫川村)

- 住所 鮫川村赤坂西野下385
- 石工 小松寅吉(こまつとらきち)
- 建立年 明治31年(1898)

寅吉の飛翔獅子(ひしょうし)の2作目。東の鹿島神社で完成された飛翔スタイル。まだこの時にはお腹の下を広く彫ってある。しかし目はすくく丸く見開いた目の曇りも効果的である。顔は石にあわせただけ少し窮屈である。

**12 矢吹神社** やぶきじんじや

- 住所 矢吹町中町9
- 御祭神 素戔鳴尊、誉田別尊、鎌倉権五郎景政尊(すさのおのみこと、ほんだわけのみこと、かまくらごんごろうかげまさのみこと)
- 石工 儀助(ぎすけ)
- 建立年 慶応元年(1865)

参道口の三番目の狛犬。慶応元年の作ということで初期のシンプルな造形が温かさを感じさせる。阿咩共に子取りである。この神社には4対の狛犬があるので違いを感じられる。

**14 鐘铸神社** かねいじんじや

- 住所 棚倉町一色カナイ神181
- 石工 小林和(こばやしわへい)
- 建立年 昭和9年(1934)

一色地区は和平の妻ナカの生まれ故郷。大きさは小振りだが丁寧に彫られている。台座に奉納者が彫られているが、奉納後の年月日もある。

**17 八幡神社** はちまんじんじや (埴町)

- 住所 埴町西河内八幡前40-5
- 石工 後藤豊春(ごとうほうしゅん)
- 建立年 昭和9年(1934)

皇太子殿下(現上皇陛下)ご降誕記念で奉納された狛犬。阿像咩像ともに目を見開き獅子というよりも妖怪を連想させる形相。大輪の牡丹が印象的な地元の石工。

**20 八幡神社** はちまんじんじや (鮫川村)

- 住所 鮫川村赤坂中野道少田162
- 御祭神 誉田別命(ほんだわけのみこと)
- 石工 野田平業(のだへいぎょう)
- 建立年 年代不明

足元まで流れる尾、平業の特徴である平たい顔と大きな鼻、技術の結晶である透かし彫りの玉。玉の中はくりぬいてあり中に玉がある。彼の最高傑作といわれる狛犬である。